

令和5年度山梨大学総合型選抜Ⅱ 第1段階選抜（土木環境工学科）
小論文

【試験の方法】

テーマの内容について45分程度の講義を行った後に、関連する課題に対して45分程度で解答してもらいました。

- 1) 講義は、プロジェクターを使って説明内容をスクリーンに映しながら行いました。
- 2) 講義開始時に、スクリーンに映す内容を掲載した資料を配布し、この資料に講義のメモをとるように指示しました。
- 3) 解答時には、配布資料を参照してもよいことを伝えました。

【講義内容と出題意図】

水道水の衛生管理と水系感染症のリスク評価

講義では、水道水の衛生管理と水系感染症をテーマに、まず水道水における微生物的な水質基準と浄水場の仕組み、水道普及率と水系感染症の患者数の変化等について説明しました。続いて、具体的な水系感染性の病原微生物の種類、水環境中での循環、水道水を介した集団感染の事例等を解説しました。さらに、水系感染症リスクの算出手順について、計算例を示しながら説明しました。講義終了後、講義内容を踏まえた以下の設問を出題し、講義の理解度を確認しました。

- ・ 水道水の衛生管理と水系感染症の特徴に関する設問（文章の穴埋め）
- ・ 浄水場での水処理、水環境中での病原微生物の動態、水系感染症リスクの算出に必要な情報に関する設問（記述）
- ・ 水系感染症リスクの評価に関する設問（計算）